# 令和7年度 年間授業計画　　教科　家庭　　科目 家庭基礎

教　科：教科　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2　学年　1　組

教科担当者：（本澤裕美）

使用教科書：（ 第一学習社　「高等学校　家庭基礎　持続可能な未来をつくる」　　）

教科　教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と生活との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 近年の消費行動の多様化・個性化が多量の死蔵品を生む要因となっていることを理解し，消費のあり方を考える。<br><br>基礎縫い等、ミシンの操作を学び、衣服の補修についてまなぶ。<br><br>経済生活を営む | 私たちと衣生活<br>被服の素材、洗濯方法と表示、被服の手入れと補完を学ぶ。<br>被服実習<br>基本縫いを習得する。<br>環境に配慮した消費生活を送れるようにエコバックを作成していく。<br><br>経済的に自立する、長期の職業設計、職業能力を向上させる | 【評価の観点】<br>(1)知識及び技能<br>生涯を見通した自己の生活についての学びを理解し適切にできる。<br>(2)思考，判断，表現<br>生涯を見通した自己の生活について理解し、問題を見出し、解決策を構想することができる。<br>(3)主体的に学習に取り組む態度<br>日頃の授業での活動、姿勢、提出物が提出できているか、課題の解決に主体的に取り組むことができているか、振り返って生活を改善したり、生活を創造し実践しようとしているか。 | ○ | ○ | ○ | 29 |
| | | 定期テスト | | ○ | ○ | | |
| 2学期 | 私たちは、人生のどの地点を歩んでいるのか、また各ライフステージは、どのような発達課題があるのか考える。<br><br>家族、家庭の機能はどのうように変化してきたのか、家族員相互の権利と義務はどういうもか考える<br><br>高齢社会の現状を課題を社会保障制度と共に考える。<br><br>サービスの購入はすべて契約であることを知り，契約の重要性を理解する。 | 青年期を生きる<br><br>家族、家庭と社会のかかわり<br><br>高齢期を生きる<br><br>消費者問題を考える | 【評価の観点】<br>(1)知識及び技能<br>生涯を見通した自己の生活についての学びを理解し適切にできる。<br><br>(2)思考，判断，表現<br>生涯を見通した自己の生活について理解し、問題を見出し、解決策を構想することができる。<br>(3)主体的に学習に取り組む態度<br>日頃の授業での活動、姿勢、提出物が提出できているか、課題の解決に主体的に取り組むことができているか、振り返って生活を改善したり、生活を創造し実践しようとしているか。 | ○ | ○ | ○ | 34 |
| | | 定期テスト | | ○ | ○ | | |
| 3学期 | 命の始まり、子供の体と心のの発育、発達、子供の発達段階に応じてどのような遊びをするのか、親の役割とは何か考える。<br><br>食品の選択・計量・器具の扱い，および包丁の使い方，野菜の切り方など調理の基本技術を習得する。 | 子供の発達<br><br>調理の基本　ライフステージと食事 | 【評価の観点】<br>(1)知識及び技能<br>生涯を見通した自己の生活についての学びを理解し適切にできる。<br>(2)思考，判断，表現<br>生涯を見通した自己の生活について理解し、問題を見出し、解決策を構想することができる。<br>(3)主体的に学習に取り組む態度<br>日頃の授業での活動、姿勢、提出物が提出できているか、課題の解決に主体的に取り組むことができているか、振り返って生活を改善したり、生活を創造し実践しようとしているか。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | | 定期テスト | | ○ | | | |
| | | | | | | | 合計<br>78 |